

スズキ、第13回新機械振興賞 「機械振興協会会長賞」を受賞

～ドライバビリティと使い勝手を向上させたAMTの開発～

スズキ株式会社は、「ドライバビリティと使い勝手を向上させたAMTの開発」について、第13回新機械振興賞「機械振興協会会長賞」(主催:一般財団法人 機械振興協会)を受賞した。

新機械振興賞は、機械工業に関わる優秀な研究開発およびその成果の実用化によって機械工業技術の進歩・発展に著しく貢献したと認められる企業や大学、研究機関及び研究開発担当者に与えられる賞で、スズキは今回初受賞となる。

●「ドライバビリティと使い勝手を向上させたAMTの開発」について

AMT^{※1}は、マニュアルトランスミッションとオートマチックトランスミッションの利点を両立した新トランスミッションである。スズキは「オートギヤシフト(AGS)^{※2}」の名称で開発、既存の安価な5速マニュアルトランスミッションにクラッチ及びシフト操作を自動で行う電動油圧式アクチュエーターを搭載し、容易な運転と低燃費走行を実現した。またシステムの制御を見直し、変速時のシフトフィーリングを向上させてダイレクトなドライブ感で運転する楽しさを提供し、さらにパーキング機構、クリープ機構を追加して使い勝手を向上させた。海外モデルの「セレリオ」をはじめ、軽乗用車「アルト」、軽商用車「エブリイ」、軽トラック「キャリイ」等に搭載し、幅広いお客様より好評をいただいている。



<オートギヤシフト>

※1 Automated Manual Transmission

※2 Auto Gear Shift

受賞内容:	第13回新機械振興賞 「機械振興協会会長賞」															
受賞対象:	ドライバビリティと使い勝手を向上させたAMTの開発															
開発担当者:	<table> <tr> <td>駒田秀樹</td> <td>スズキ株式会社</td> <td>四輪エンジン第二設計部</td> </tr> <tr> <td>釜付裕之</td> <td>スズキ株式会社</td> <td>四輪エンジン第二設計部</td> </tr> <tr> <td>吉田諭広</td> <td>スズキ株式会社</td> <td>四輪エンジン第二設計部</td> </tr> <tr> <td>深田知宏</td> <td>スズキ株式会社</td> <td>四輪トランスミッション設計部</td> </tr> <tr> <td>大賀健一郎</td> <td>スズキ株式会社</td> <td>四輪トランスミッション設計部</td> </tr> </table>	駒田秀樹	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部	釜付裕之	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部	吉田諭広	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部	深田知宏	スズキ株式会社	四輪トランスミッション設計部	大賀健一郎	スズキ株式会社	四輪トランスミッション設計部
駒田秀樹	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部														
釜付裕之	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部														
吉田諭広	スズキ株式会社	四輪エンジン第二設計部														
深田知宏	スズキ株式会社	四輪トランスミッション設計部														
大賀健一郎	スズキ株式会社	四輪トランスミッション設計部														
受賞者コメント:	「多くの技術者が関わって製品化できた技術であり、日頃の努力が認められ、(駒田 秀樹) 技術の発展に貢献できたことを大変光栄に思っております。」															